ヘーゲルが提唱した弁証法とは？終章

さて、ヘーゲルが提唱した弁証法の動画シリーズでは３つの考え方：

１．万物（ありとあらゆる物）は対立する何かがあってこそ存在する

２．ゆるやかな変化によって分岐点（転機、変わり目）が訪れ、対立する何かに打ち勝つ

３．変化は螺旋状に起こる

を元に動画を投稿しました。

おさらいをしますと、

世界は常に変化していて、素早く起こる変化もあればゆるやかに起こる変化もあり、変化が起こる分岐点と言うのは、対立する物同士のどちらかが相手に打ち勝った時に起こります。

恐らくヘーゲルが伝えたかったのは：

１．多くの人が求める富、名声、力を持っていない状態から持っている状態に変化するためには、素早く手に入れるような近道を求めてはいけない（短期的な思考）。何故なら、それらは緩やかな変化、日々の努力や積み重ねによってもたらされる物である場合がほとんどあるから。一日でお金持ちになる事、頭脳明晰になる事、プロ並みにスポーツが上手くなる事、家庭を築く事、ダイエットをする事、筋骨隆々になる事が出来ないように（もちろん例外はありますが）。

だからこそ、続的に毎日、１ミリでも遠く進む事を考えて、日々精進する事こそが、手にしたい物を手にする確実な道であると思うわけです（長期的な思考）。何故なら、この世界はそのように出来ているからです。

そして、

２．あなた自身の力で変える事の出来る事と変える事の出来ない事、難しい事がある。例えば、戦争が長引くように、他人を変える事は難しく時間の掛かる事である場合が多いでしょう。

しかし、あなた自身の事は他人を変える事と比べると、より簡単に変える事が出来る事が多いのではないでしょうか？何故なら、あなた自身をコントロールしているのはあなたですから。あなたが本気で変わろうとすれば、変わる事も容易いでしょう。常にあなたには、あなたの行動、考え方、習慣、何が大事で何を優先して生きるか？と言う事などをコントロールする権利が与えられていて、その行動と思考を磨く事に時間を掛けるべきではないでしょうか？何故なら、あなた自身で変える事が出来ない事、例えば過去、天気、経済、会社の上司、生まれ持った能力などと、他人のように変えるのは難しい事に対して時間を割き続けるのは時間を無駄にする確率が高いですから。

変える事が出来ない事、難しい事を変えようとするには人生は短すぎる。しかし、変える事が出来る事をあなたの思うような形に変化させる事は、８０年の人生で成し遂げる事が出来るかもしれません。